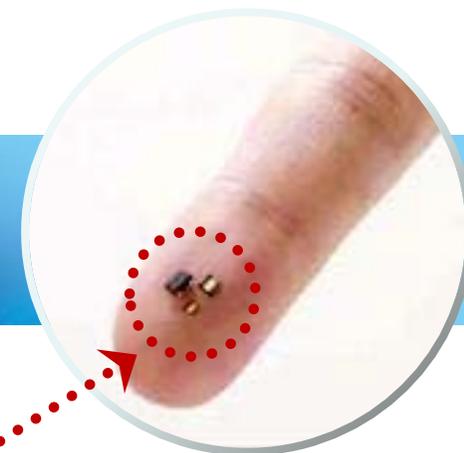


トレックス・セミコンダクター株式会社

個人投資家向け会社説明会

「+YOU ニッポン応援全国キャラバン in 岡山」



私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2017年8月23日

1 **トレックスについて**

2 **トレックス・グループ**

3 **2018年3月期 第1四半期実績**

4 **株主還元**

1. トレックスについて

1. 会社概要
2. 会長藤阪の紹介
3. 沿革
4. 当社のあゆみ
5. 事業内容
6. 特徴

1 トレックスについて

2 トレックス・グループ

3 2018年3月期 第1四半期実績

4 株主還元

1. トレックスについて

1-1. 会社概要

- 2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、その1年後の2015年10月に東証二部に市場変更した、創業22年の半導体メーカーです。

アナログのチカラ

ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 ユニゾ新川永代通りビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	18億3,817万円（2017年3月31日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：160名 / グループ：981名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第二部 2015年10月15日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に
適応した価値ある製品を創出し、豊か
な社会の実現と地球環境の保全に貢
献するとともに、私たちの事業に携わる
すべての人々が共に繁栄することを企
業の理念とする。



1. トレックスについて

1-2. 会長 藤阪の紹介



昭和18年 8月16日 広島県福山市生まれ

昭和41年 3月 東京理科大学理学部応用数学科を卒業後、福山電波工業高等学校（現 近畿大学附属福山高等学校）にて教諭として勤務

昭和44年 4月 興譲館高等学校 教諭を経て、昭和45年 4月にシンコー電器(株)入社

昭和62年 7月 同社取締役役に就任

平成 7年 3月 トレックス・セミコンダクター(株)取締役役に就任

平成11年 3月 当社専務取締役

平成14年 6月 当社代表取締役社長

平成27年 6月 当社代表取締役会長

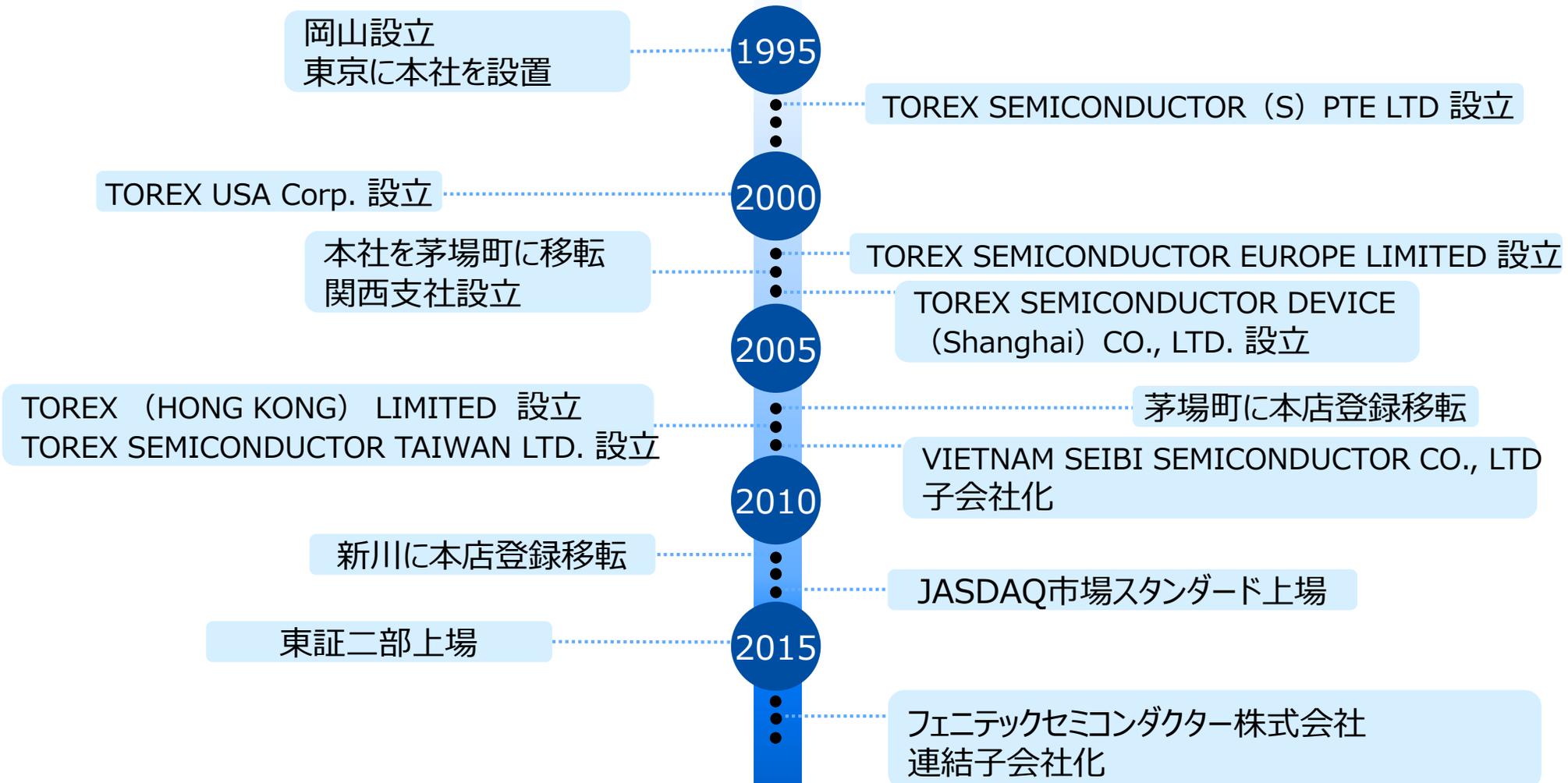
趣味：料理、読書



1. トレックスについて

1-3. 沿革

- 電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



1. トレックスについて

1-4. 当社のあゆみ

- 2016年4月のフェニテックセミコンダクター(株)子会社化により、発祥の地**岡山**に戻ってまいりました

フェニテックセミコンダクター株式会社

本社所在地 岡山県井原市木之子町150番地

事業内容 半導体素子、半導体製品の製造・販売

従業員数 648名

事業所
岡山：本社工場・第一工場
鹿児島：鹿児島工場
京都：京都デザインセンター



岡山本社工場



岡山第一工場

1. トレックスについて

1-5. 事業内容

- あらゆる電子機器に不可欠の電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



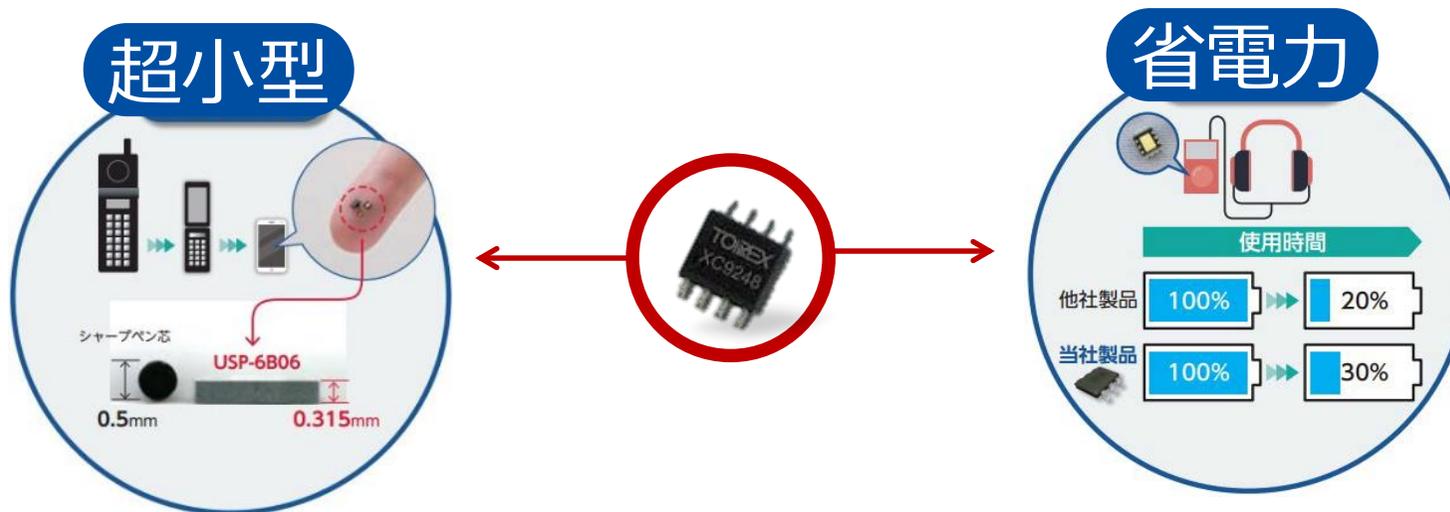
電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

1. トレックスについて

1-6. 特長～①独自技術

- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

1. トレックスについて

1-6. 特長～②あらゆる電気機器の中で活躍

✓ 電気を必要とする**機器**には **すべて** 電源ICが使われています



世界は「アナログ」でできている
あらゆるフィールドで採用されるトレックスの電源IC

家電製品	液晶テレビ / 美容機器 / 家庭用ゲーム機 / 生活家電 / ホームシアター / LED照明
医療機器	電子体温計 / 体重計 / 血圧計 / 心電計 / 血糖値計 / モニタリング機器
ウェアラブル機器	スマートウォッチ / スマートグラス / スマートカード / ウェアラブルカメラ / ウェアラブル端末

産業機器	産業用ロボット / POSレジスター / POS端末 / 工業用測定器 / スマートメーター / セキュリティ機器
車載機器	カーナビゲーション / カーオーディオ / パワーウィンドウ / パワーシート / ETC車載機 / ドライブレコーダー用カメラ / バックビューモニター用カメラ
PC関連・コミュニケーション	スマートフォン / PC周辺機器 / デジタルカメラ / ICレコーダー / ノートパソコン / 電子辞書 / 電子書籍端末 / 携帯ゲーム

2. トレックス・グループ

1. グループ事業構造の変化
2. トレックス・グループのリソース
3. 市場見通し
4. 重点分野の採用事例
5. 重点目標

1 トレックスについて

2 トレックス・グループ

3 2018年3月期 第1四半期実績

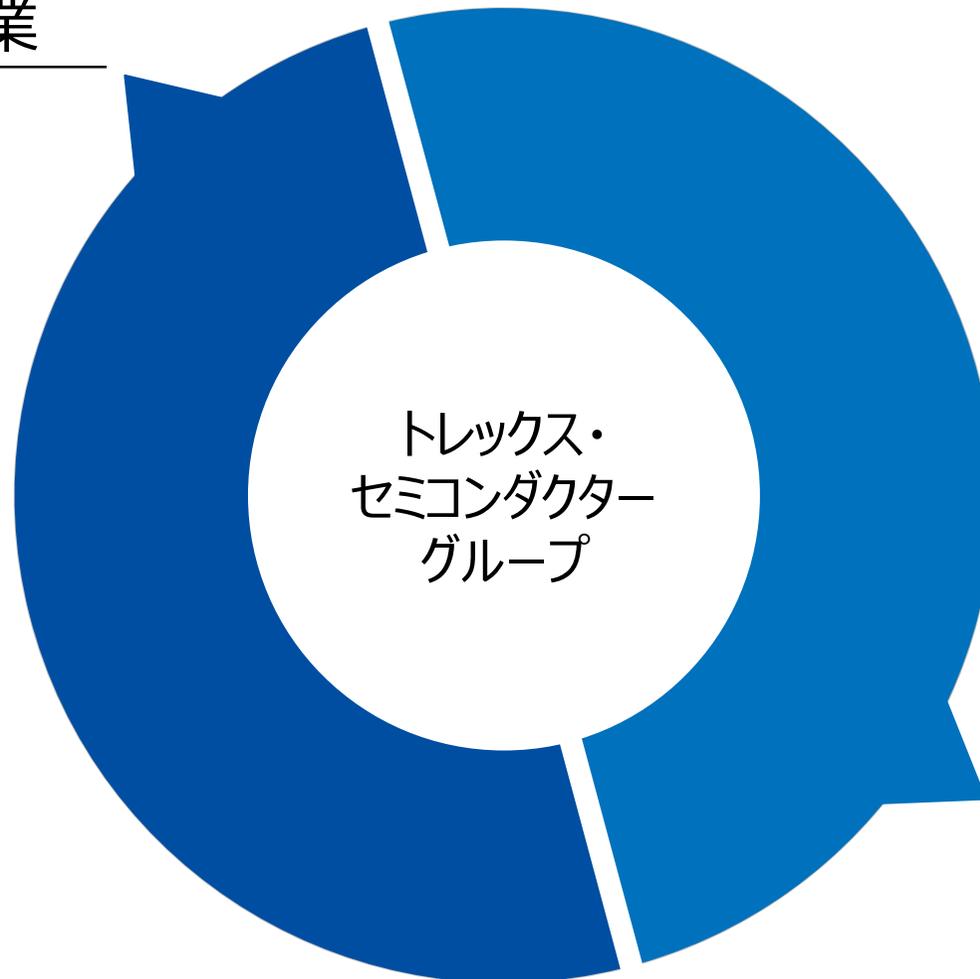
4 株主還元

2. トレックス・グループ

2-1. グループ事業構造の変化

これまでの事業

超小型・省電力
電源ICの
開発・販売



トレックス・
セミコンダクター
グループ

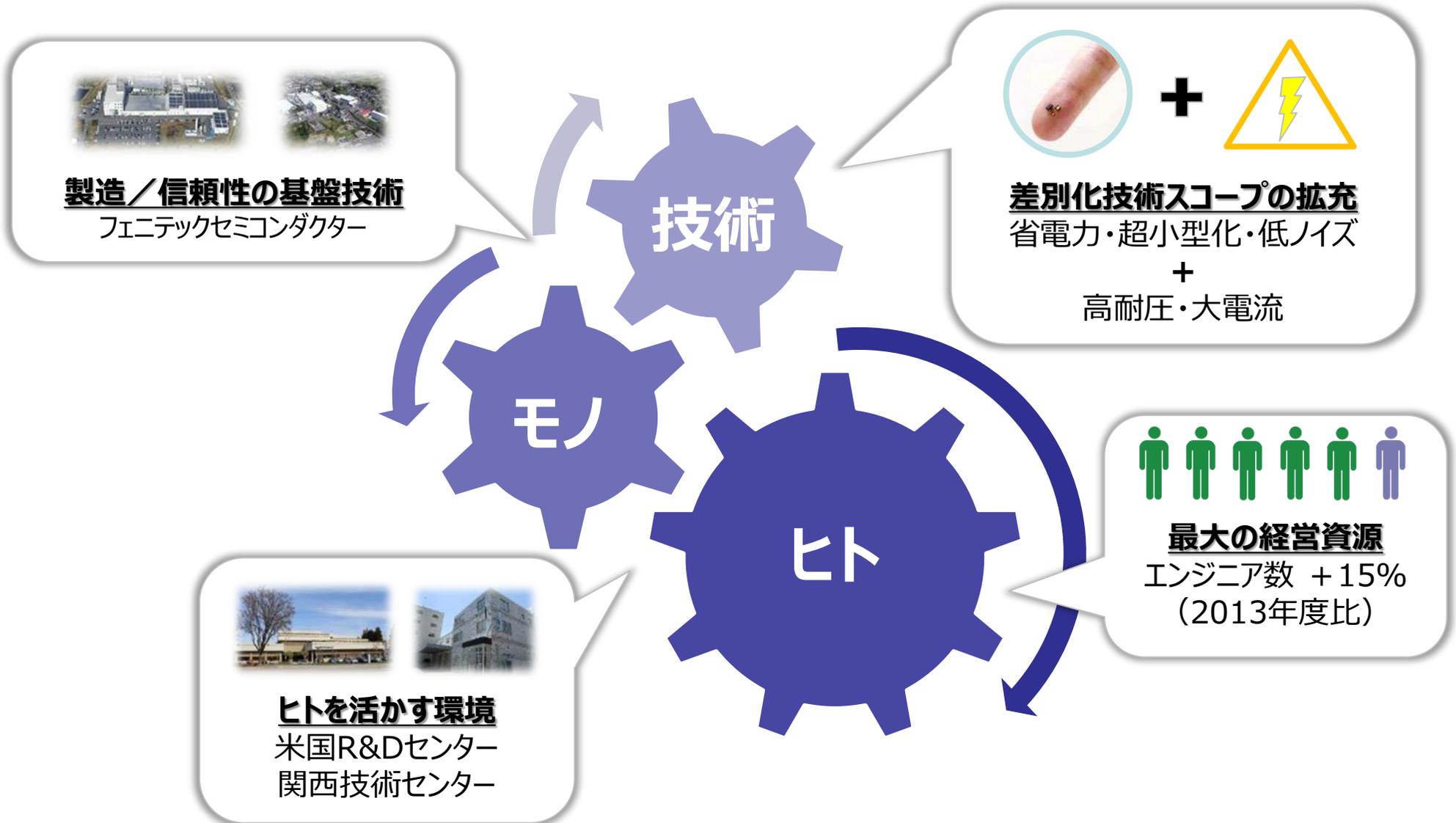
フェニテック

ファンドリー
(半導体受託製造)

2. トレックス・グループ

2-2. トレックス・グループのリソース①

- 成長に向けたリソースの充実を図ってきました。



2. トレックス・グループ

2-2. トレックス・グループのリソース②

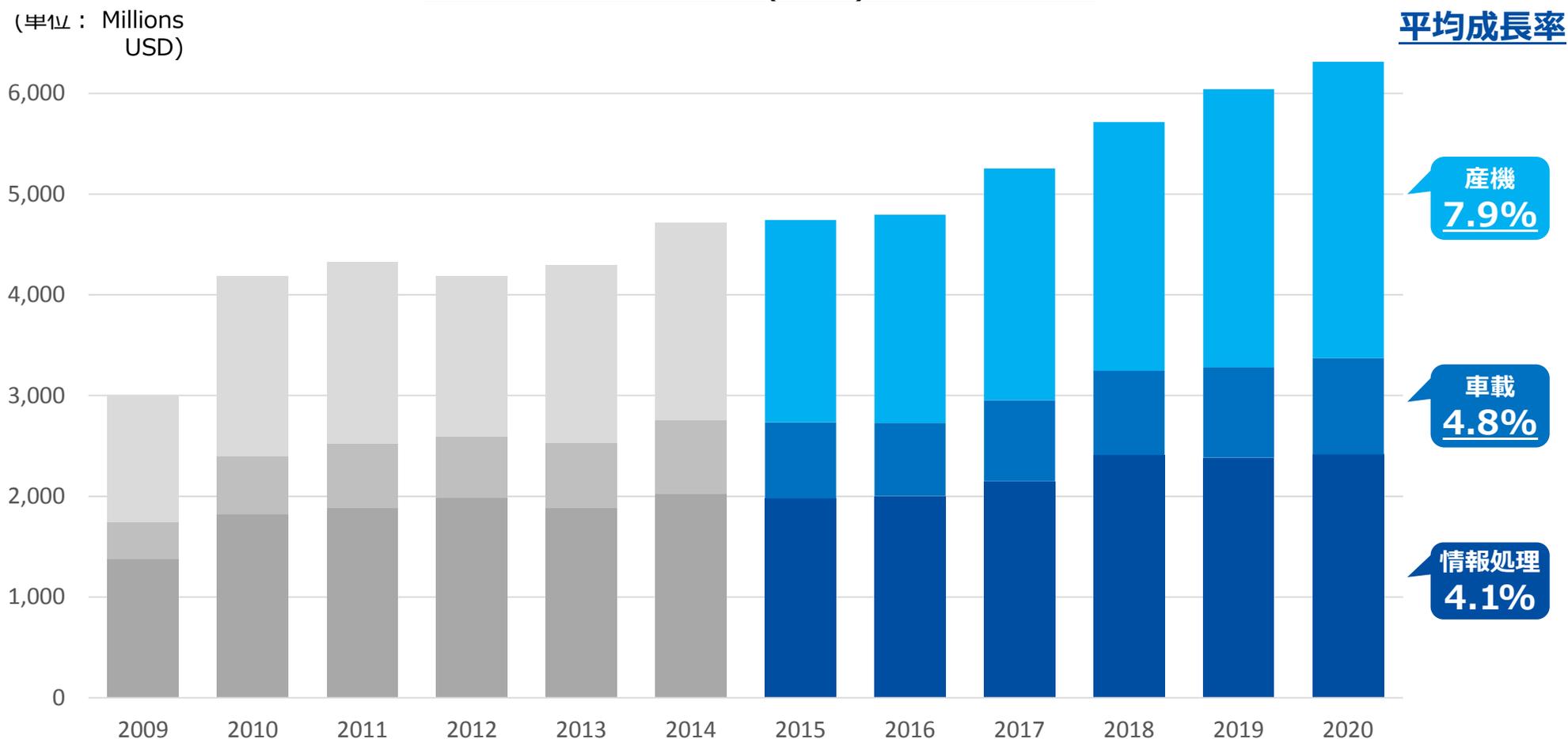
- 国内に東京本社を含む7拠点、海外6カ国に8つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



2-3. 市場見通し～①アナログ電源IC

- これからの電源IC市場はワイヤレスや家電分野よりも車載・産業機器分野において相対的に高い成長が期待されます。

世界の電源IC分野別(抜粋)市場規模推移



【出典】IHS Global株式会社調べ(2016年)

2-3. 市場見通し～②ファンドリー

- ファンドリー市場は、リーマンショック以降堅調に推移しております。

世界のピュアファンドリー市場規模推移

(単位: Millions USD)



【出典】IHS Global株式会社調べ (2016年)

2. トレックス・グループ

2-4. 重点分野の採用事例の紹介

- 安全、安心、快適なくらしの追求により世界のIoTが進み、通信機能を要する分野の拡大、新しい分野での採用が増えています。

市場	アプリケーション	市場	アプリケーション
車載機器		その他	<p>テニスラケット、サッカーボール、縄跳び等のスポーツ用品</p>
産業機器	<p>スマートメーター 監視カメラ 自動販売機</p>		<p>ドローン</p>
ウェアラブル・医療	<p>血圧計 心拍数モニター フィットネストラッカー GPS時計</p>		<p>スマートカード</p>

2-5. 重点目標

フェニテックのグループ化を機に、目指す姿に向けて重点目標を設定します。

▶ 高収益体質の回復・向上

営業利益率アップ、ROE10%超を早期に実現

▶ 高い信用力／信頼性の確立

BCP対応を含めた長期安定供給の体制を確立
最高水準の品質・信頼性を実現

▶ 重点市場でのシェア向上

車載・産業・医療機器市場でのシェアアップ
新規市場での採用増（ウェアラブル、ドローン、ロボット、VR等）

3. 2018年3月期 第1四半期実績

1. 2018年3月期 第1四半期業績 売上
2. 2018年3月期 第1四半期業績 利益
3. 旧トレックス 実績内訳
4. フェニテック 実績内訳

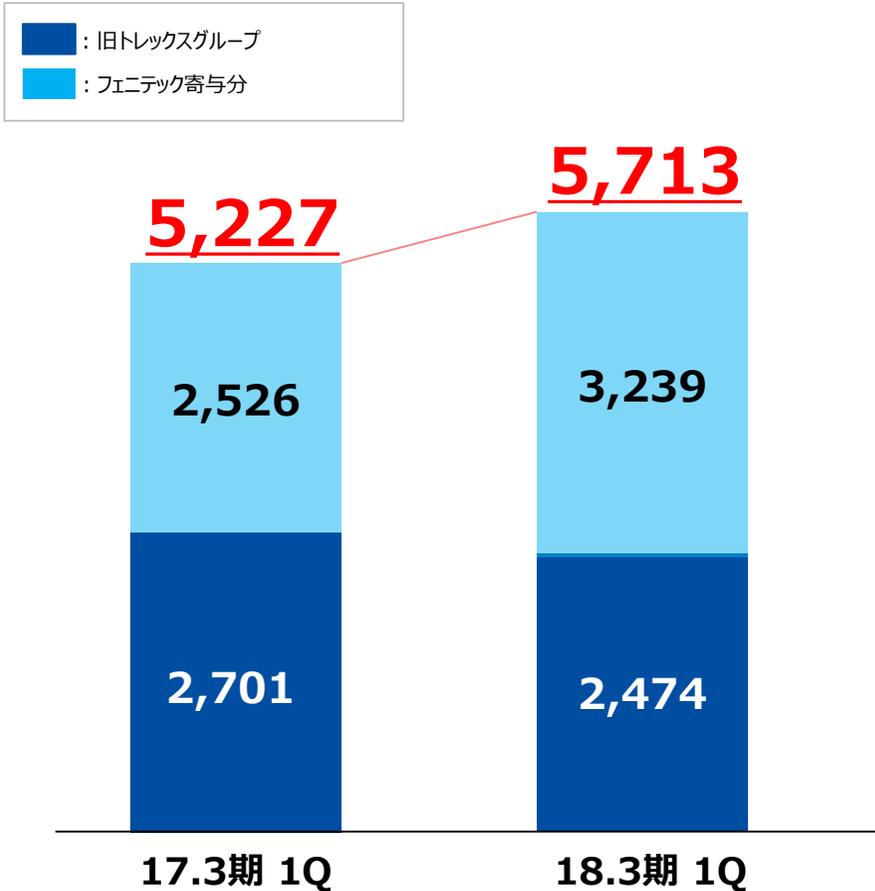
1 トレックスについて

2 トレックス・グループ

3 2018年3月期 第1四半期実績

4 株主還元

(単位：百万円)



➤ 旧トレックスグループ

- 国内販売が伸びず減収
- 重点分野（産・車）は堅調に推移
- PCやAV等向けの低調が続く

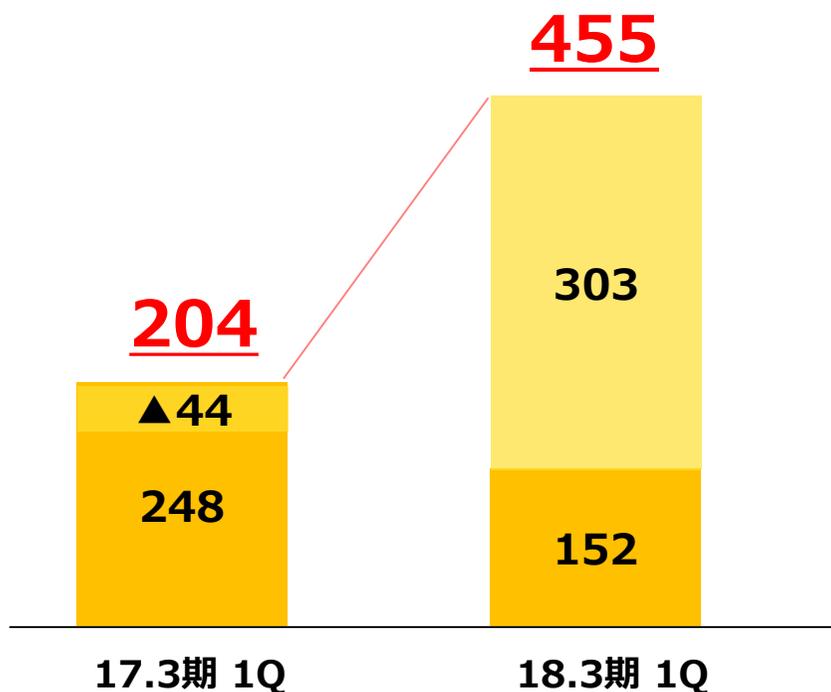
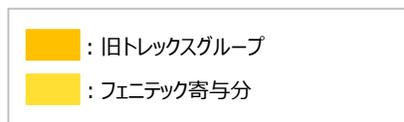
➤ フェニテック

- 北米の顧客の受注が継続して好調
- 国内は堅調
- 後半は慎重な見積もり

(単位：百万円)

	17.3期 1Q	18.3期 1Q	対前年同期比増減率
売上高	5,227	5,713	9.3%

(単位：百万円)



➤ 旧トレックスグループ

- 国内販売の不振が影響
- 高収益製品の数量が伸びず
- 減収に伴う減益となる

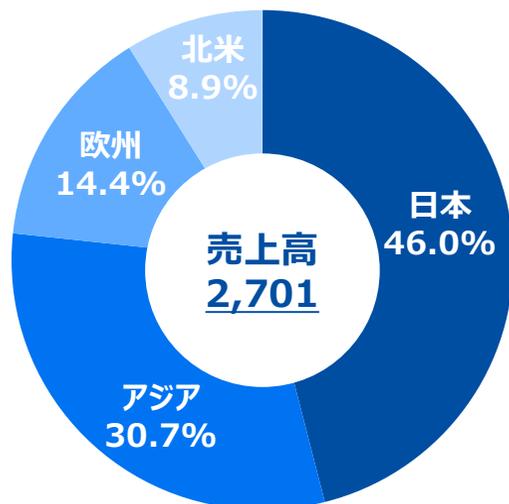
➤ フェニテック

- 北米での受注数好調による増収増益でアップ
- 北米以外も堅調
- 後半は慎重な見積もり

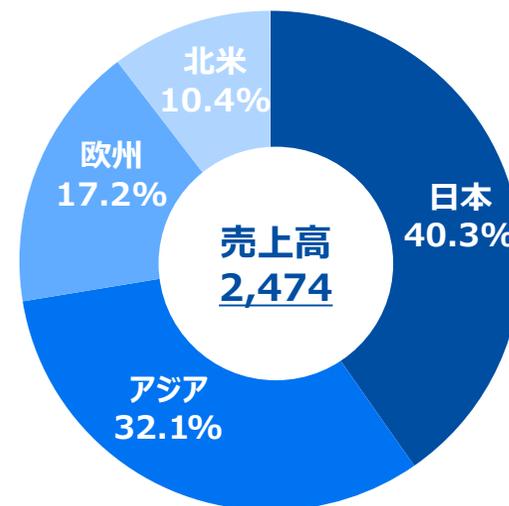
(単位：百万円)

	17.3期 1Q	18.3期 1Q	対前年同期比増減率
営業利益	204	455	123.1%

3-3. 2018年3月期 第1四半期業績 ～地域別売上高（旧トレックスGのみ）



17.3期1Q実績



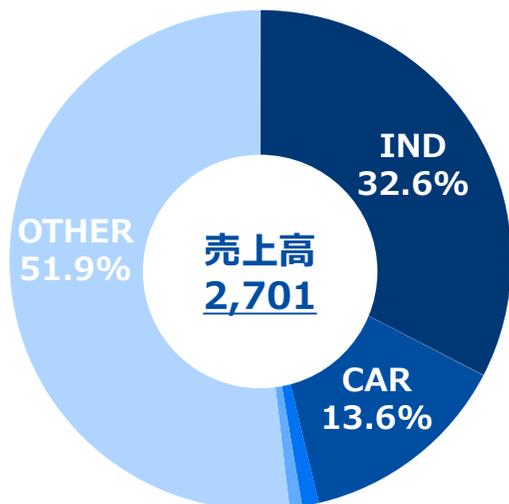
18.3期1Q実績

(単位：百万円)

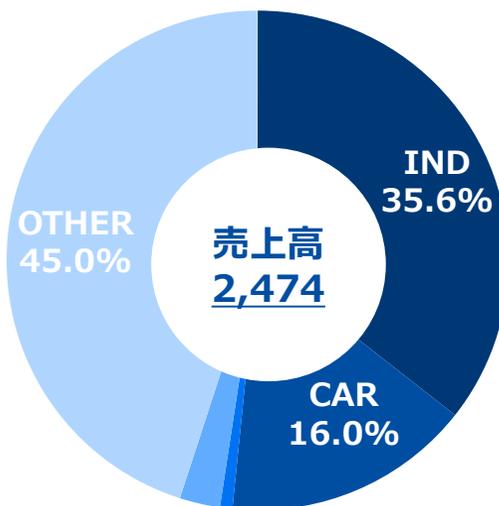
地域 (D-in)	17.3期 1Q		18.3期 1Q		対前年同期比 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	1,241	46.0%	997	40.3%	▲19.7%
アジア	829	30.7%	793	32.1%	▲4.3%
欧州	388	14.4%	426	17.2%	9.8%
北米	241	8.9%	257	10.4%	6.6%
平均為替レート (1\$=)	109.1円		111.6円		-

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

3-3. 2018年3月期 第1四半期業績 ～アプリケーション別売上高（旧トレックスGのみ）



17.3期1Q実績



18.3期1Q実績

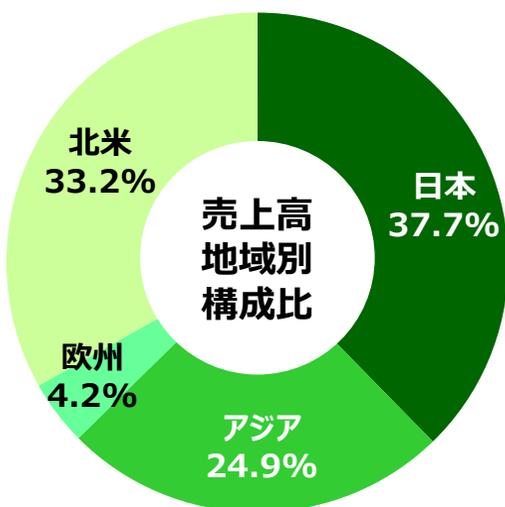
(単位：百万円)

アプリケーション	17.3期 1Q		18.3期 1Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	881	32.6%	880	35.6%	▲0.1%
CAR 車載機器	367	13.6%	395	16.0%	7.6%
MED 医療機器	30	1.1%	20	0.8%	▲33.3%
WEA ウェアラブル機器	22	0.8%	64	2.6%	190.9%
OTHER その他機器	1,399	51.9%	1,113	45.0%	▲20.4%

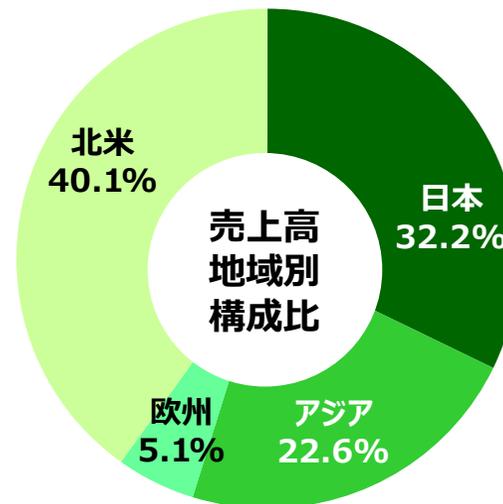
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

3-4. 2018年3月期 第1四半期業績 ～地域別売上高（フェニテックのみ）

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



17.3期1Q実績



18.3期1Q実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

地域（顧客）	17.3期 1Q		18.3期 1Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	1,090	37.7%	1,160	32.2%	6.4%
アジア	720	24.9%	815	22.6%	13.2%
欧州	120	4.2%	182	5.1%	51.7%
北米	960	33.2%	1,442	40.1%	50.2%
平均為替レート (1\$=)	109.1円		111.6円		

※注：日本には、トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

4. 株主還元

- 1. 基本方針
- 2. 配当金

1 トレックスについて

2 トレックス・グループ

3 2018年3月期 第1四半期実績

4 株主還元

4. 株主還元

4-1. 基本方針

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として**連結配当性向20%以上**、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として**株主資本配当率（D O E）3%**程度を当面の目標として実施してまいります。

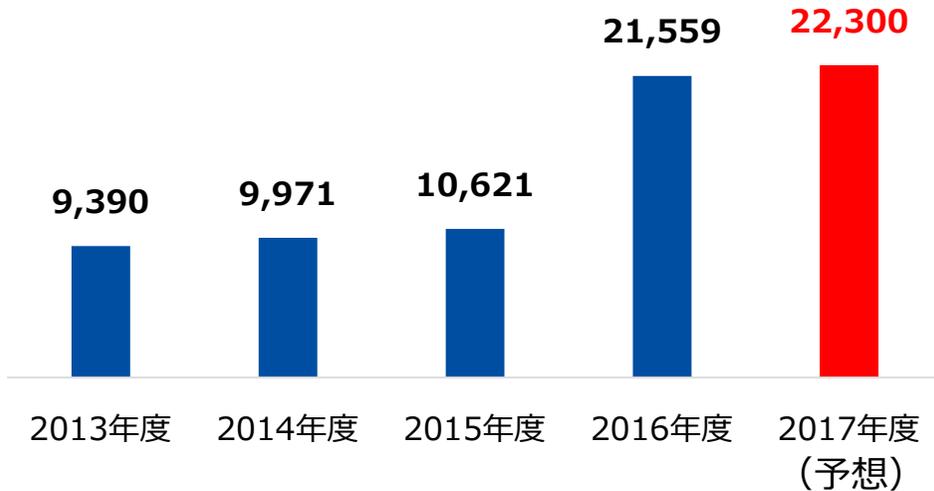
4. 還元方針

4-2. 配当金

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	16円00銭	16円00銭	32円00銭
今期 配当予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭

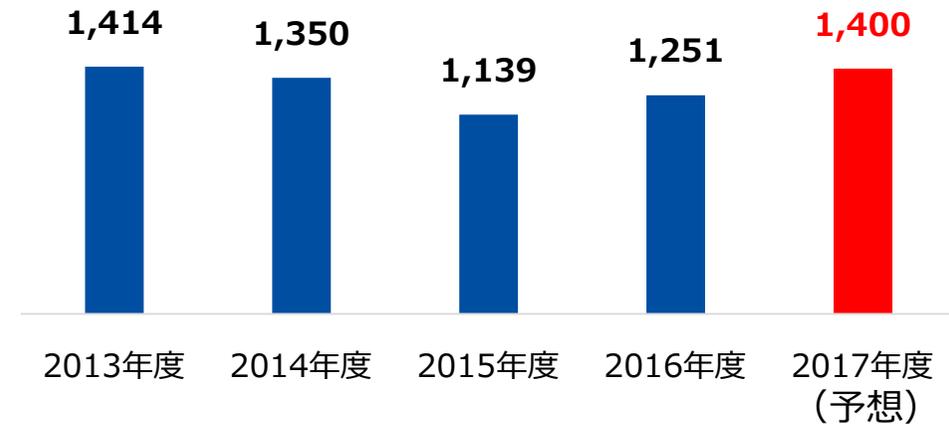
売上高

単位：百万円



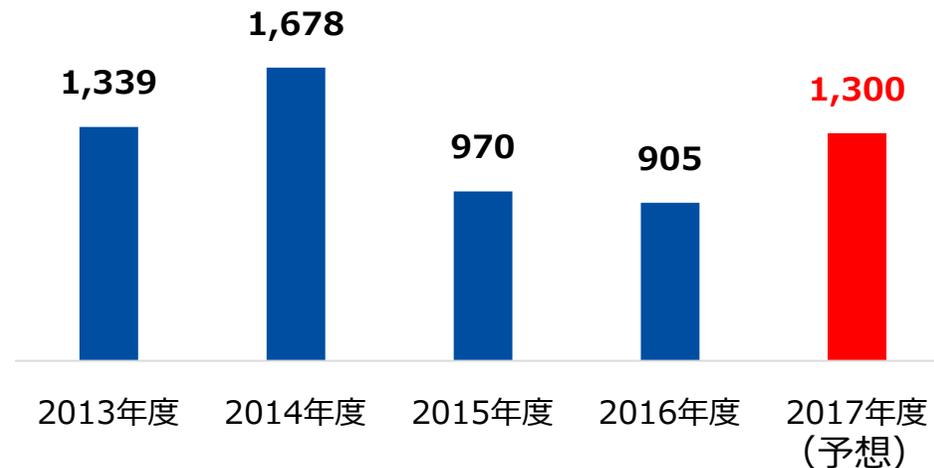
営業利益

単位：百万円



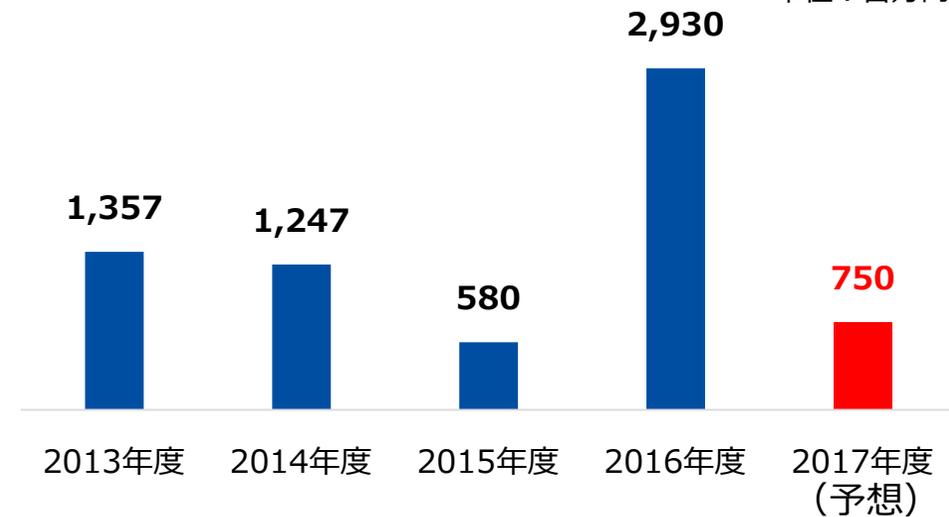
経常利益

単位：百万円



当期純利益

単位：百万円



本資料に記載された内容は、2017年8月22日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

